

## 前回（第2回）の主な御質問・御意見への回答・対応（案）について

【反映区分 A…反映 B…反映に向けて検討・議論 その他（質問に対する回答等）】

No	御質問／御意見	回答／対応（案）	反映区分
<b>資料 No. 3 「岩手の教育をめぐる背景と今後の方向性」について</b>			
1	<p>【(2) 岩手の教育をめぐる状況変化の①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の科目の全国平均との差の理由</li> <li>・家庭学習時間が少ない理由</li> <li>・暴力行為の発生件数・不登校児童生徒数が依然多い傾向にあるとする比較対象は。</li> </ul>	<p>【全国平均との差】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学調において、特に中学校数学A・Bが全国平均と差が生じており、先生方の指導力を改善していかなければならない。</li> <li>・家庭学習の時間がまだ足りない状況で、授業と家庭学習の連動の活発化が必要。</li> </ul> <p>【暴力行為の発生件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に小学校の増加が目立ち、自分の感情をコントロールできない子が増えたことや、けんかやふざけ合いなどもカウントされるようになったことが要因。</li> </ul> <p>【不登校の児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高が若干増加の傾向にあり、全国的にも同様の傾向。家庭要因が小学校は約6割、中学校は約4割、高等学校は約3割。</li> </ul>	その他
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での学習時間がとれていない理由は把握していないと捉えても良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の学習状況調査に「何時に家に帰ってくるか」という項目を加えたところ、「8時以降に帰ってくる中学生」が11%おり、今後はそのような面の考慮も必要。</li> </ul>	その他
3	<p>【(1) 社会状況の変化の⑤と(2) 岩手の教育をめぐる状況変化の④】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学の学部が少ないという理由で県外の大学に進学し戻ってこない生徒が多くいるが、例えば県立大学で学部を増やすことはできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少で高校生も少なくなっており、岩大も県立大も新たな学部の増設は難しい状況にあるが、高校生のニーズに合った学科の再編や募集定員の見直し等を検討しているという情報は聞いています。</li> </ul>	その他
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す姿で、社会に開かれた学校とはどのようなイメージを意識されているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会に開かれた教育課程」などの文言が中教審で示され、地域の持つ教育力を学校の学習活動に生かしていく。また、学校の情報も開くという部分も社会に開かれた学校という中の意味合いとしては含まれていると考えています。</li> </ul>	その他
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に開かれた学校は、将来に向けた教育のあり方として重要であり、10年間でどのような方向に進めていくのかがあっても良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と家庭、地域との連携が今後重要になってくるのはご指摘のとおり。</li> <li>・内容については、まだ薄い部分等もあるので、委員の皆様からも、いろいろな観点から意見をいただければと考えています。</li> </ul>	B

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域の間には壁があり、何か突破できるようなものがほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に基づく全国共通の部分をまずはしっかりやる一方、「岩手だからこそできる教育、岩手だからこそやらなければならない教育」を進めていく。</li> <li>・地域との協働だけではなく、学校教育活動全般についても、具体的な中身を整理していきたいと考えています。</li> </ul>	B
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会に開かれた」には、ライフキャリアの視点が強調されていることを踏まえるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、計画を作成していく際の視点として、御意見を踏まえて検討させていただきます。</li> </ul>	B
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災津波の経験や教訓を踏まえ、教育にどのように反映しようとしているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いわての復興教育」という本県独自のプログラムを立ち上げ、郷土を愛し、復興、発展を支える人材を育成するという理念のもと、県内全ての学校で、さまざまな活動や取組を進めながら、岩手や世界で活躍する人材育成を、学校だけではなく、地域や家庭が一緒になって進めています。</li> </ul>	その他
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す姿に、東日本大震災津波の経験を盛り込んでいくべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわての復興教育を、それぞれの学校や地域でしっかりと取り組んでいくことで、我々が目指している人材が育成できると考えています。</li> </ul>	B
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の人生観や社会との関わりが、現実に取り組みされているということを非常に大事にしたい。</li> <li>・震災で得られた教訓という強いインパクトがほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわての復興教育は、防災教育としてさまざまな災害にも対応できるプログラムであり、岩手の歴史を学校教育の中でつないでいくことが岩手の教育の使命と思っています。</li> </ul>	B
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が社会で生きていくために重要な人格形成や倫理観、道徳心といった文言の表現に、人生が大切だという視点が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人格の形成というのは、教育の大きな目標、目的の一つだと思いますので、表現を工夫させていただきます。</li> </ul>	B
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校生徒が依然多い傾向とのことだが、全国と比べて出現率は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての校種で全国の出現率よりも低い状況となっています。</li> </ul>	その他
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の問題が全国に比べ低いなど、良いところは褒め、岩手の子ども達に自信と誇りを持たせる教育が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、計画に盛り込む際に、工夫させていただきます。</li> </ul>	B

<b>2 施策展開の方向 (1) 岩手で、世界で活躍する人材の育成</b>			
14	・文化・スポーツで活躍する人材の育成では、指導者や専門家の育成が大事であり、教育環境としてどういうことを県では考えているのか。	・優れた才能ということで、スポーツや勉強などの特徴を伸ばしてあげるような取組を盛り込んでどうかという視点で入れています。	その他
15	【目指す姿の2番と3番】 ・キャリア教育として1つにまとめられないか。	・内容的に同じであると考えますので、整理をさせていただきます。	B
16	【3番の県内就職率の向上】 ・施策の評価ツールとしての目標で、目指す姿からは外れるのではないか。	・計画の策定に当たっては、県や各主体のそれぞれの役割を細かく記載させていただく予定であり、目指す姿についてもわかりやすいように調整していきます。	B
17	・目指す姿について、誰を主体として書くかを整理すべき。		
18	・1番目に「岩手で、世界で活躍する人材の育成」を持ってきたことは、大変すばらしい。	・引き続き御意見に沿った形で調整させていただきます。	B
<b>2 施策展開の方向 (2) 確かな学力の育成</b>			
19	・児童生徒でくっついているところには、幼児が入るべきではないか。	・小学校前から学習意欲を持たせることも取組として想定していますので、御意見を踏まえて整理させていただきます。	B
20	・「基礎的・基本的な学力が定着」というところは、知識・技能ではないか。	・ご指摘のとおり、「基礎的・基本的な知識・技能の定着」に修正します。	B
21	【目指す姿の家庭学習の充実】 ・学校だけでなく家庭の関わりも盛り込んだほうがよい。	・家庭学習は、大変重要な項目ですので、加えさせていただきます。	B
<b>2 施策展開の方向 (3) 豊かな心の育成</b>			
22	【3番の豊かな心の育成】 ・生徒指導の観点も入るべきではないか。	・例示として道徳、体験活動、読書活動というところを挙げていましたが、生徒指導活動も例示するかについては、検討させていただきます。	B
<b>2 施策展開の方向 その他(全体に対する意見)</b>			
23	・到達目標なのか、緩やかな目指す方向のかなど、指標としての目標をどう捉えるのかを整理すべき。	・目指す姿に、定性的なものが良いか定量的なものが良いかなど、本審議会で検討を進めさせていただきます。	B
24	・全国に比べて頑張っているところなどを踏まえた上で展開していただきたい。	・今後、計画に盛り込む際に、工夫させていただきます。	B